

岐路に立つ中国と東アジア諸国経済への影響 ～ 政治・経済の視点から～

中国共産党は、長期的な経済政策の方針を決める重要会議「三中全会」を7月15日から3日間、北京で開催すると発表しました。「三中全会」は、5年に1度の党大会で選出される「中央委員会」の全体会議で、今回は不動産市場の持ち直しや経済成長の質の向上など重要政策の方針決定が焦点となります。特に関西経済界においては貿易面でも密接にかかわる中国政治の現状分析と中長期的な動向について関心が高まっております。

そこで今回は、中国共産党の重要会議「三中全会」の内容を踏まえたうえで、中国の政治と経済の2つの視点から専門家をお招きし、現状分析と今後の中長期的な展望についてご講演いただき、それに続く討論を通じて、これからの日本・関西経済を考える上で重要な視点を参加企業・団体の皆様へ提供していきます。ぜひご参加ください。

講師



東京大学名誉教授
高原 明生 氏



APIR主席研究員、
神戸大学 大学院
経済学研究科 教授
梶谷 懐 氏

【 高原 明生 氏 略歴 】

東京女子大学特別客員教授、東京大学名誉教授、日本国際問題研究所上席客員研究員、日本国際協力機構緒方貞子平和開発研究所シニア・リサーチ・アドバイザー

1958年生まれ。英国サセックス大学学術博士号（DPhil）取得（開発問題研究）。桜美林大学、立教大学、東京大学を経て、2024年より現職。日本国際問題研究所上席客員研究員（現職）。専門は、現代中国政治、東アジアの国際関係。

次第

- ◆ 基調講演 ① 「三中全会を経た中国の内政、外交」（高原 明生 氏）
- ◆ 基調講演 ② 「中国経済と過剰投資問題：不動産から新興産業へ」（梶谷 懐 氏）
- ◆ パネルディスカッション 及び 質疑応答
 - ・ 木村 福成 氏（APIR上席研究員／慶應義塾大学教授／日本貿易振興機構アジア経済研究所所長）
 - ・ 高原明生 氏、梶谷 懐 氏

8月29日 木
15:00～17:00

📍 グランフロント大阪 北館タワーC
8F Room C03

対面 50名
オンライン
200名

参加費無料

お申込みはこちら

お申し込みの受付は
8月27日(火)17:00まで
となっております。

